



2022年5月30日

各 位

会社名:フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(コード:8462 東証スタンダード)
代表者名:代表取締役社長 松本 直人
問合せ先:取締役管理部長 塩本 洋千
(TEL: 075-257-2511)

中期ビジョンと成長戦略の策定に関するお知らせ

当社は、この度、中期ビジョンと成長戦略を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、「経営者の夢の実現を応援する」を創業理念に掲げ、1998年の創業より、地域密着のハンズオン型ベンチャーキャピタルとして活動してきました。創業から20年あまりたち、私たちはベンチャー企業や経営者だけではなく、大企業や金融機関、行政からも必要とされる企業へと変化してまいりました。

そうした中、「ベンチャーキャピタル」という枠組みを超え、人と資本の関係をより良いものにアップデートしたい、そうすることで社会を本当の意味で豊かにすることこそ、私たちの使命であるという議論が繰り返されるようになりました。こうした思いから、創業の想いを引き継ぎつつ、単にベンチャーキャピタルとしての活動に留まらず、多様な起業家や投資家を創出することで未来にとっての真の価値を創るという意味を込め、ミッション、ビジョンを刷新しました。

それに合わせて、これまで培ってきた日本全国のネットワークや多様な社会課題をテーマにしたファンド創出といった強みを活かした成長戦略を描き、ミッション、ビジョンの実現及び企業価値の最大化に邁進してまいります。

以 上

中期ビジョンと成長戦略

投資家さま向け説明資料



Future
Venture
Capital

ミッション・ビジョン刷新の背景

当社は、「経営者の夢の実現を応援する」を創業理念に掲げ、1998年の創業より地域密着のハンズオン型ベンチャーキャピタルとして活動してきました。

創業から20年あまりたち、私たちはベンチャー企業や経営者だけではなく、大企業や金融機関、行政からも必要とされる企業へと変化してまいりました。

そうした中、「ベンチャーキャピタル」という枠組みを超え、人と資本の関係をより良いものにアップデートしたい、そうすることで社会を本当の意味で豊かにすることこそ、私たちの使命であるという議論が繰り返されるようになりました。

こうした思いから、創業の想いを引き継ぎつつ、単にベンチャーキャピタルとしての活動に留まらず、多様な起業家や投資家を創出することで未来にとっての真の価値を創るという意味を込め、ミッション、ビジョンを刷新しました。

それに合わせて、これまで培ってきた日本全国のネットワークや多様な社会課題をテーマにしたファンド創出といった強みを活かした成長戦略を描き、ミッション、ビジョンの実現及び企業価値の最大化に邁進していきます。



中期ビジョン

1998年、京都で独立系VCとして創業

地域の社会課題解決を始め、時代の流れによって さまざまな社会課題と向き合い発展



MISSION

実現したい未来

人と資本のより良い関係をつくることを通して、
社会のすみずみに本当の豊かさを実現する

私たちは実現します。

挑戦しやすくなる環境を。

お金がより良い未来に流れる仕組みを。

FVCはベンチャーキャピタルのあり方を再定義し、

人と資本のより良い関係をつくります。

FVCの考える本当の豊かさ

画一的な価値



1 多様な選択

都市部の限られた人の幸せ



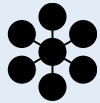
2 地域まで広がる幸せ

短期的な利益



3 長く続く価値

1.



挑戦者の想いのスケールに
合わせた多様な支援のかたちを提供
し、多様な事業創出をサポートする

2.



都市に住む限られた人の
ためだけでなく
地域の人々の幸せに寄り添う

3.



短期的な利益を追うのではなく、
人や社会にとって長く豊かさを
もたらす価値を生み出す

MISSIONを実現するためのアプローチ

一般的なVC

FVC

一部の起業家/企業による
巨大インパクトの創出

多様な起業家による
インパクトの集積

一極集中

自律分散

都市部のみの富の集中
成長が見込みやすい分野への集中投資
一部のハイヒエラルキーな関係者との協力

多様な起業家への投資・支援
多様な出資者との連携
多様なステークホルダーとの共創



VISION

成し遂げること

社会を豊かにする

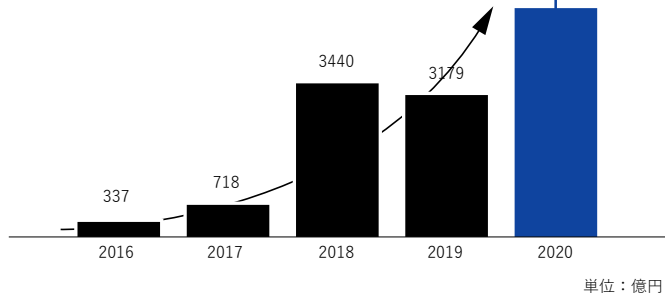
多様な起業家・投資家を創出する

成長する国内の インパクト投資

年平均成長率

97%

5,126億円

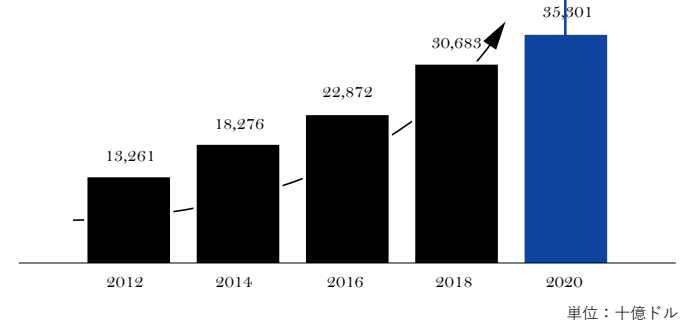


海外における巨額な インパクト投資残高

年平均成長率

13%

4,300兆円



国内事例

社会的企業のバリュエーションは上昇

IPO

株式会社LITALICO



「障害のない社会をつくる」

2016年マザーズ上場、2022年プライム市場へ移行

時価総額：
2022年5月 **900億円**

売上：
2022年3月期 **197億円**

営業利益：
2022年3月期 **24億円**

株式会社ユーグレナ



「サステナビリティファースト」

2012年東証マザーズ、2014年東証一部、2022年プライム市場

時価総額：
2022年5月 **1,000億円**

売上：
2021年12月期 **344億円**

営業利益：
2021年12月期 **△17億円**

大企業M&A

Dari K株式会社



「All-Winな社会」

サステナブルなチョコレートブランド
2022年株式会社ロッテによるサステナビリティ強化のためM&A

買収額：
買収時推定 **数十億円**

売上：
2022年買収時推定 **数億円**

世界のインパクトVCファンドの巨額化と仕組みの発展

事例1 - 米国



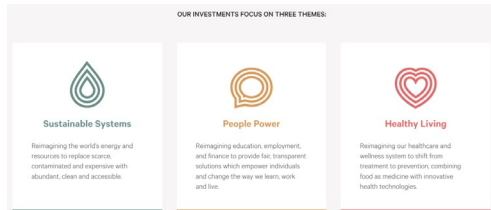
2014年から2020年にかけて

総額 \$585 Millions (約760億円)

のインパクトVCファンドを組成

社会性の高い
投資テーマ

社会的インパクトの
評価や仕組み



#worldpositive (世界にとって良い)
全人類的投資テーマの解決を志向し
3つの重点領域を設定

投資先の社会的インパクトレポートの
発行や、価値観、インクルージョンや
サステナビリティの取り組みや
寄付について契約に明記

事例2 - イギリス

2022年に

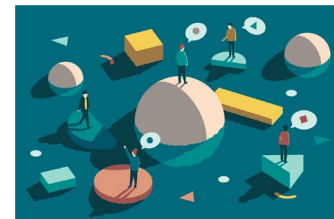
atomico^o

\$600 Millions (約780億円)

のインパクトVCファンドを組成

持続可能な社会の
意識強化プログラム

ESGポリシーへの
コミットメント



ESG Policy

テックカンパニーが持続可能な社会に
対する意識を高め、エシカルな行動様
式を強化する目的のプログラムを運営

投資活動におけるアプローチとして
ESG目標やスタンダードを満たすため
の原則を持ち運用している

FVCによる実例

1. 京都市スタートアップ支援ファンド



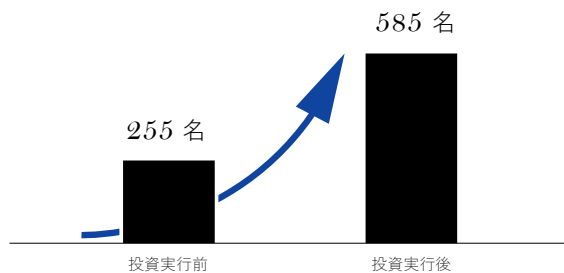
京都の地域経済の活性化に貢献する企業に投資する目的で2016年に多様なステークホルダーと設立

設立から4年経過後の実績

地域の働き手の増加

投資先で働く雇用者数

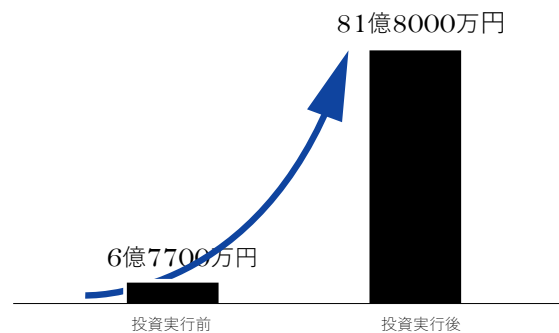
229%



挑戦しやすい資金環境の醸成

資本調達額

1,208%



2-1. おおさか社会課題解決1号ファンドの社会性

おおさか 社会課題 解決ファンド

社会課題解決に取り組む企業の資本と経営を支援するため、大阪信用金庫と共に出資し2017年に設立

多様な社会課題への 取り組み

社会参加・収入獲得機会 少子高齢化
生産性向上 地域の生業支援 格差社会
まちづくり・観光 環境
超高齢化社会 働きがい・労働環境改善
グローバル社会 子育て・教育

投資先が取り組む多様な
社会課題テーマ

社会課題解決に資する KPIを可視化・ トラッキング



例：空き家の減少数、寄付金額、
ストレスチェックの改善度合い

マイノリティを エンパワメント



投資先のKPI向上の事例：

- ・高齢者関係者の相談件数 1.7倍
- ・所得が増加した障害者数 2.5倍

2-2. おおさか社会課題解決1号ファンドの経済性

経済面においても高い収益性の実現

25社への投資の結果^{*1}

デフォルト

0社

Exit

3社

平均投資倍率

4.77倍^{*2}

Exitの事例

IPO

株式会社i-plug



2021年 東証マザーズ市場上場
(現・東証グロース)

M & A

夢見る株式会社



2019年 株式会社エディオンへの
売却にて投資回収済

自社株買

株式会社アイリス



2020年 自社株買いにより、投資回収済

*1 2017年9月-2021年9月

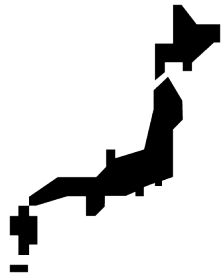
*2 売却額/投資額 (2021年9月末時点)

ビジョンを実現するための 成長戦略



1

日本全国の
ネットワーク



日本最大級の
地域金融機関/地域企業/自治体
とのパートナーシップ

2

社会課題解決
のための
ファンド運営



多様な社会課題の解決を
目指したファンドの運営と
社会的インパクトの最大化

3

多様なファンド
を支える
ミドル・バック



多様なあり方のファンド
設立・運営を可能にする
効率的なミドル・バック

1. 日本全国のネットワーク

強みの事例

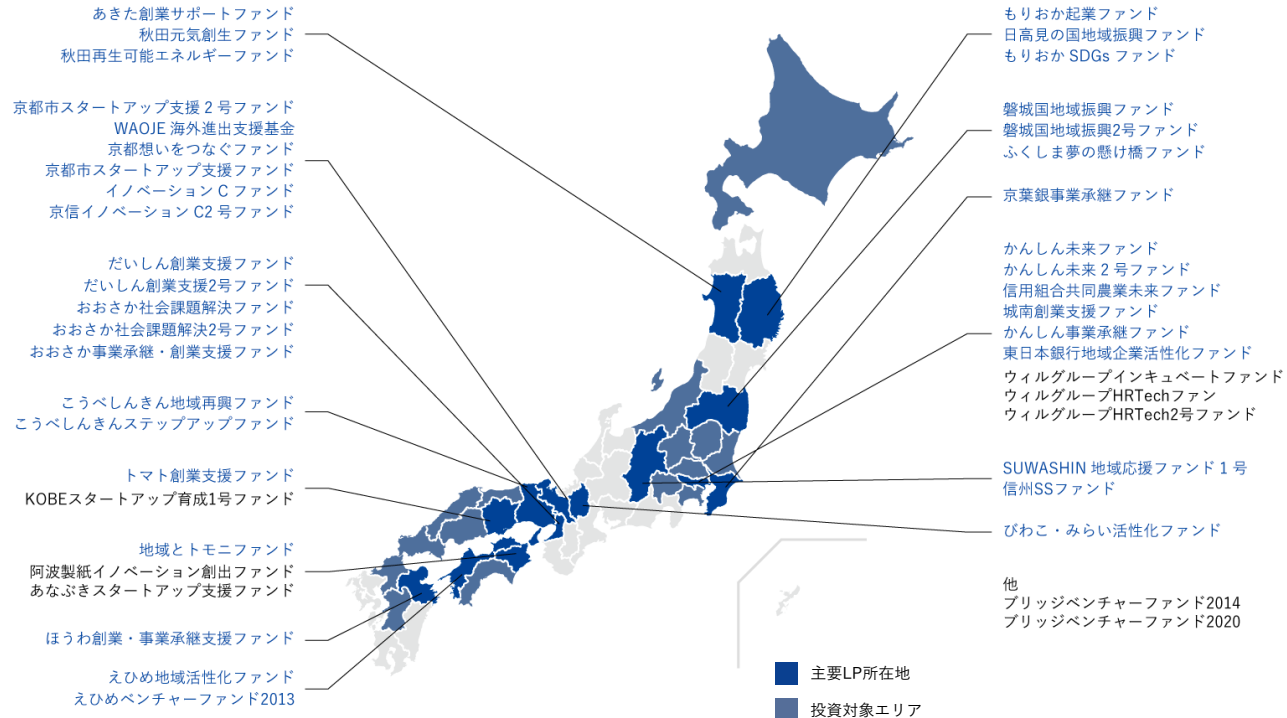
地方創生ファンド

37本

CVCファンド

9本

地域金融機関との創業・事業承継
支援ファンド実績 **No.1**



1. 日本全国のネットワーク

強みの事例

地域金融機関や自治体との連携による地域創生ファンド設立・運営

もりおか起業ファンド・SDGsファンド



もりおか起業ファンド



岩手県盛岡広域での起業家を資金・経営支援をする目的で、盛岡信用金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、柴波町、FVCが出資し、2012年に設立されたファンド。

もりおかSDGsファンドは、17分野の目標の達成と社会課題の解決に取り組む企業を投資により支援することを目的に2021年設立。

テーマ主導での多様な事業会社を巻き込んだファンド設立・運営

ロボットものづくりファンド

日本のものづくりスタートアップを支援する
ロボットものづくりファンド



株式会社菊池製作所や、SMBCベンチャーキャピタル株式会社等、事業会社、金融機関、合計9社よりご出資（26億円）。

ものづくり系のスタートアップを中心に、社会課題解決に取り組むスタートアップと大企業のオープンイノベーションの支援を目的に2019年設立。

2. 社会課題解決のためのファンド運営

強みの事例

社会性の高い会社に投資する 鎌倉投信との共同GPファンド

創発の蒼1号ファンド



創発の蒼

- ・社会価値と経済価値の両面から「これからの社会を創発に導く」可能性のあるスタートアップを支援するため、鎌倉投信と共同で実現した2021年設立のファンド
- ・長期視点・社会創発・地方創生・叡智融合・持続成長の5つを特徴・強みとし、鎌倉投信とFVCの投資理念やビジョンの親和性から実現

東日本大震災以降に組成した 地域を活性化する企業に投資する 東北の地方創生ファンド

FVC Tohoku 運営ファンド

あきた創業サポートファンド
秋田元気創生ファンド
秋田再生可能エネルギーファンド



もりおか起業ファンド
日高見の国地域振興ファンド
もりおか SDGs ファンド

磐城国地域振興ファンド
磐城国地域振興2号ファンド
ふくしま夢の懸け橋ファンド

東日本大震災があった2011年をきっかけに新たに模索した地域金融機関と取り組む「地方創生ファンド」による創業支援は、EXITを株式上場に限らず、地域に愛される100年継続企業を生み出すことを目指し、東北・岩手県からスタート

2. 社会課題解決のためのファンド運営

ダイバーシティ & インクルージョンや アクセシビリティなど多様な社会課題に取り組む 注目の先端スタートアップへ投資

投資先事例

インクルージョン

株式会社
ヘラルポニー

ヘラルポニー

障害者アートブランドを通して
さまざまな異彩を届ける

**グッドデザイン賞
など多数**

障害の克服

株式会社
LIFESCAPES

LIFESCAPES

重度運動障害の治療をミッショ
ンに掲げBMIをコア技術とした
革新的なリハビリ機器の開発

**NEDOの助成事業
に採択**

フェムテック

株式会社
ネクイノ



フェムテック領域から遠隔医療
で日本の医療課題を解決を目指
すオンライン医療サービス

企業価値300億円
(startup databaseより)

教育の革新

KIYOラーニング
株式会社

KIYO
LEARNING

「学びを革新し、誰もが持って
いる無限の力を引き出す」を掲
げる、EdTechスタートアップ

2020年上場
(現：東証グロース)

2. 社会課題解決のためのファンド運営

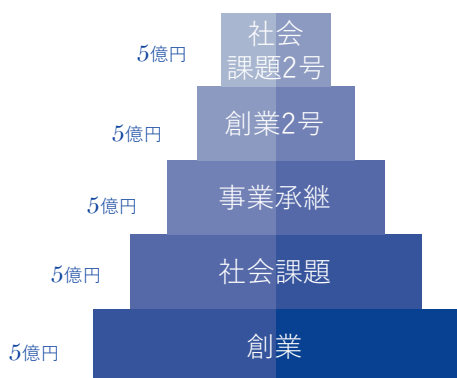
経済面での強み

運用総額が積み上がり継続的な収益を実現

地域金融機関・行政

事業会社

25億円



大阪

2014-2022年 (1 - 5号)

地域 / 社会課題解決

20億円

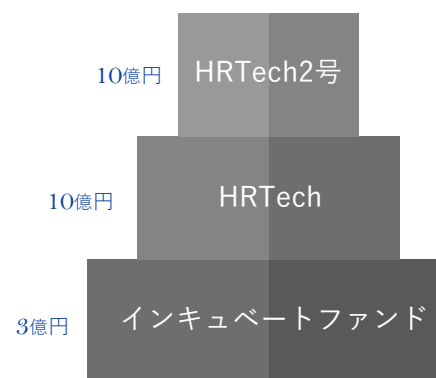


京都

2017-2022年 (1 - 6号)

地域 / 社会課題解決

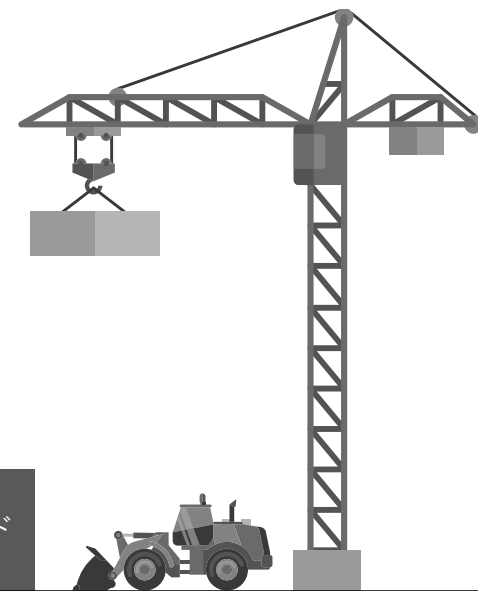
23億円



ウィルグループ

2015 - 2022年(1 - 3号)

従業員のWell-Being



3. 多様なファンドを支えるミドル・バック


強み

日本最大の約**50**本の多様なファンドを同時並行
で運営してきたミドル・バックの効率性



ガバナンス
体制

上場企業として20年以上ファンド運営をしてきた
ベースに、投資部門から独立の組織にてファンド
管理を行うなど
強固なガバナンス体制を構築



高い
専門性

法令、契約に関する
専門的な投資法務の独立組織を持ち
実行・モニタリング・EXITなど
ステージ別のリスクコントロールを実施

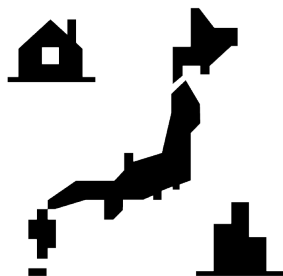


効率的な
仕組み

VCファンドに加えて事業承継ファンドなどの設
立・運営、社会的企業の持続的な成長のための種
類株による投資回収モデルを開発するなど、
多様なファンド形態に対応

3つの強みの拡張

1
地域金融機関
との
ファンド強化



シェアNo.1で成長余地も大きい
地域金融機関とのファンド強化

2
社会課題解決の
ファンド強化



ニーズが高まる中
実績を積み上げてきた
社会課題解決のファンド強化

3
ファンドアドミの
サービス展開強化



多様なファンド運営で培った
ノウハウや仕組みをファンドアドミの
受託サービスとして強化

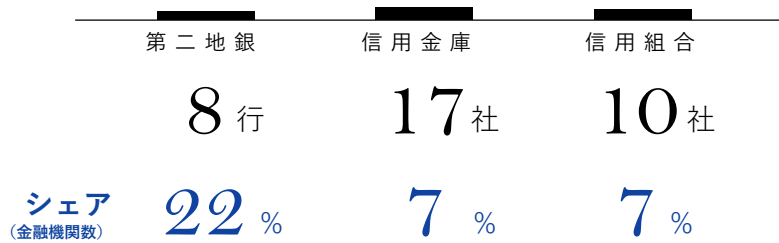
1. 地域金融機関とのファンド強化

地域金融機関向けのファンドポテンシャル

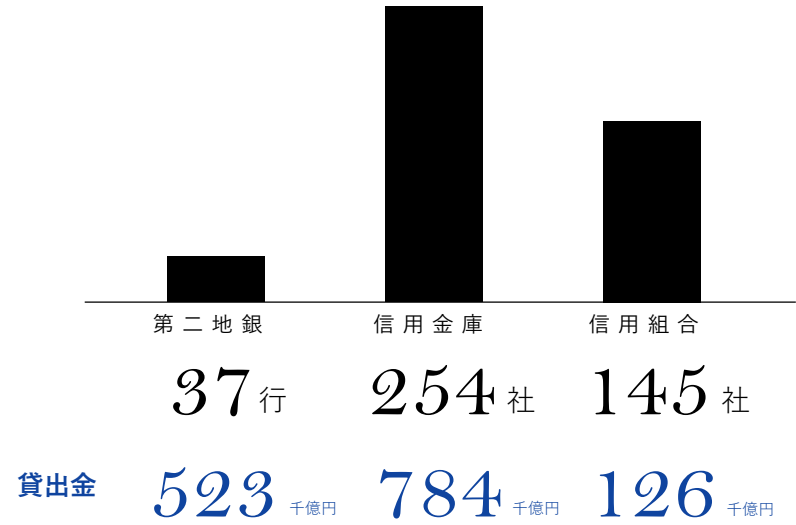
地域金融機関を出資者とする
ファンド設立のシェアNo.1

地域金融機関による
資本性資金（エクイティ）の
成長余地は大きい

地域金融機関と運用中のファンド数



地域金融機関の数

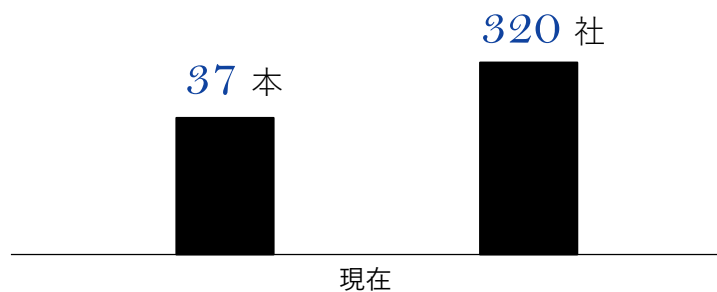


1. 地域金融機関とのファンド強化

今後の展開

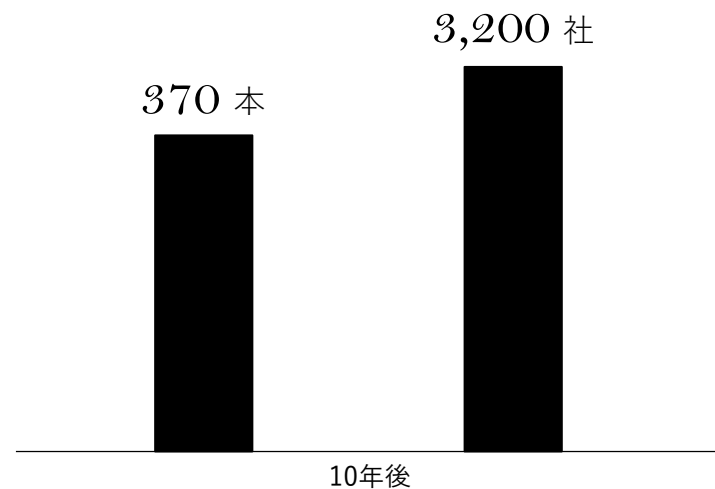
シェアNo.1で成長余地も大きい地域金融機関との ファンド強化

運用総額 **140**億円 ^{*1}



※1 2022年5月末時点

運用総額 **1,400**億円 ^{*2}



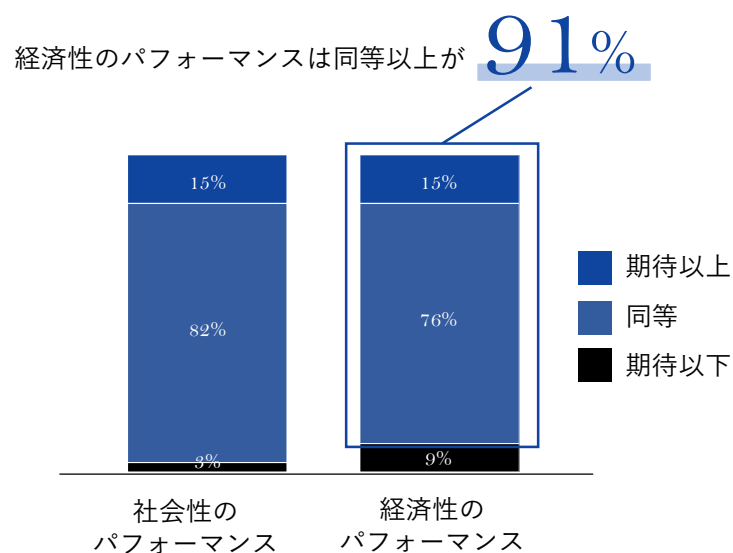
※2 第二地銀・信用金庫・信用組合の融資総額の1%がエクイティへ移行し
FVCのシェアが10%と想定すると、運用総額は1,400億円

2. 社会課題解決のファンド強化

インパクトVCファンドのポテンシャル

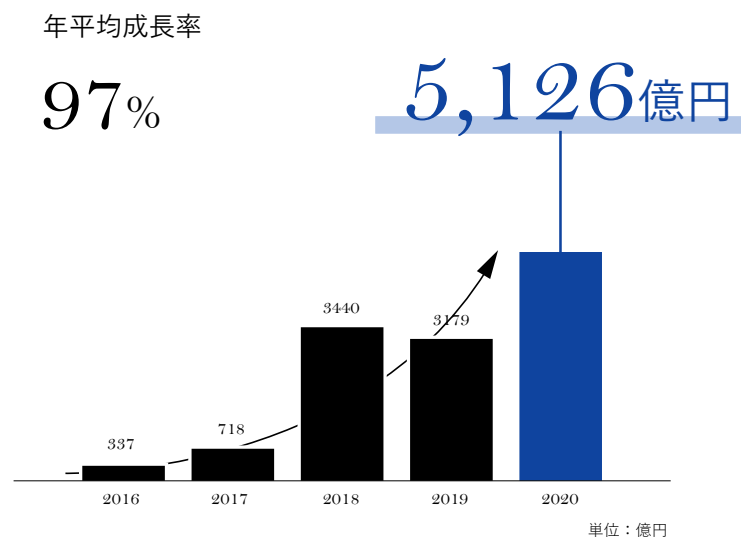
社会性だけでなく
経済性のパフォーマンスも高い

インパクトファンドへの期待値とその結果



成長する国内のインパクト投資

国内におけるインパクト投資残高



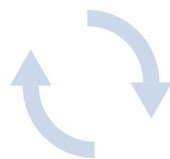
2. 社会課題解決のファンド強化

今後の展開

■
着実に実績を積み上げてきた社会課題解決
のファンドの規模拡大・機能拡張

規模拡大

社会的インパクトをテーマ
とするゼネラルファンド/
共同GP / GP支援の拡大



機能拡張

インパクト投資における
計測・評価、アクセラレー
ションなどの機能拡張

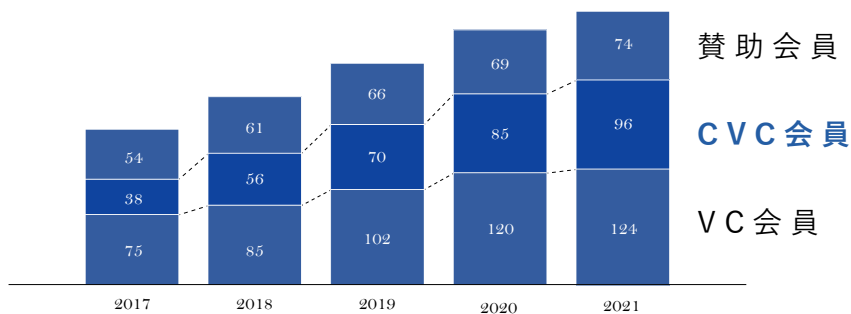
3. 多様なファンドを支えるミドル・バック

ファンド・アドミサービスのポテンシャル

ファンド設立・運営に関するニーズの高まり

アドミの受託サービスとして複数社への実績

一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会の
会員数



6件

- ・独立系VCファンド組成支援
 - ・エンジェルファンド組成・運営支援
 - ・再生・PEファンド組成・運営支援
- 等

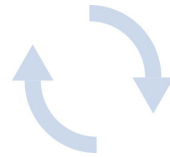
3. 多様なファンドを支えるミドル・バック

今後の展開

■ 自社GPファンドを支える仕組みの追求と 強みを活かしたファンドアドミ受託の強化

効率化

今後、大幅なコスト増加せず
ファンド数を数倍拡大しても
運営できるミドル・バック業務
の仕組み化・高度化の追求



アドミサービス強化

多様なファンド運営で培った
ノウハウや仕組みをもとに
ファンド設立・運営に関する
受託サービスの強化

M & A により 3 つの強みを強化

地域金融機関との
ネットワーク

社会的インパクト領域での
ケイパビリティ

多様なファンドに対応する
ミドル・バック

M & A /
JV 出資
~ 2025 年
12 億円

1
地域金融
DX サービス

2
M & A
コンサル
仲介

3
投資先のための
クラウドソ
リューション/経
営管理サービス

FVCの主たる顧客である地域金融機関向けに展開するサービスとの連携による顧客カバレッジの強化及びクロスセルによる収益性向上

社会課題解決に取り組む投資先の適正な評価や相性が良い譲受先へマッチング強化による収益性向上

多様なファンドを運営する自社のアドミの効率化に加えて、投資先の経営管理業務の生産性向上

株主・投資家のみなさまへ

社会のすみずみに、本当の豊かさを。

新たなミッションの実現には、
株主の皆さま、投資家の皆さまの多様な視点が必要です。

挑戦者がより挑戦しやすくなる環境へ。
お金がより良い未来のために流れる社会へ。

私たちは、社会性と経済性を両立する企業として、
これまで以上に、邁進してまいります。

引き続き、フューチャーベンチャーキャピタルへのご支援を
どうぞよろしくお願いいたします。